

地域医療連携だより

Vol.278

R8.8

長浜赤十字病院 地域医療連携課

〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7

TEL 0749-68-3314

FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター

地域周産期母子医療センター

災害拠点病院・災害拠点精神科病院

滋賀県地域がん診療連携支援病院

滋賀県基幹原子力災害拠点病院



盛夏の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



リバーズ型人工肩関節置換術(RSA)を始めました

2026年度より、腱板断裂型関節症、骨折に対するリバーズ型人工肩関節置換術(RSA)の施行資格を取得し、導入開始しました。手術適応についてはガイドラインが定められていますが、「原則65歳以上」が対象で、「肩が痛くて夜が眠れない」、「頭まで手が届かない」といった症状の方に良い機能改善が期待できる可能性があり、「リウマチ肩や骨折後の機能障害の残存」などにも適応があります。肩を動かすインナーマッスルである腱板は、加齢とともに損傷していきます。調子が悪く受診した時には既に元に戻せない状態になっている方も多く、そのような方々の最終手段の手術とされています。



整形外科
桑田 慎也

また、高齢者の骨折に対しても適応があり、こちらも施行資格を取得しました。

RSAの強みとして、認知機能が落ちてきてリハビリが困難な方でも基本動作は可能になり、ある程度の機能改善が得られます。運動習慣のある方やリハビリに積極的な方には、中等度の労作やレクリエーションレベルの水泳、ゴルフなどに復帰できる方もいます。一方で、重労働は制限され、脱臼や感染など人工関節全般の合併症のほか、RSA特有の骨折など注意点もあります。

腱板を修復する術式自体も進歩し続けており、「元に近い状態まで戻せる肩」も、「元には戻せないがRSAで治せる肩」も増えています。そのため、最終的な治療方針は専門医による判断が必要です。「もう年だから仕方ない」と諦められている方がいましたら、お気軽にご紹介いただければ幸いです。



Stryker 社 HP より引用



正常な肩関節



◆◆ 新任医師よりご挨拶 ◆◆



よろしくお願いします

精神科 宇野辰悟

私は守山市の出身で、大学病院精神科にて2年間勤務し、急性期精神医療や身体合併症を有する患者さんの診療に携わってきました。このたび長浜赤十字病院に赴任し、地域の皆様に寄り添った精神科医療を提供できるよう努めてまいります。

当院精神科では、統合失調症、うつ病、双極症などの一般的精神科診療に加え、認知症診療や身体疾患を合併した患者さんへの対応にも力を入れています。高齢化が進む地域特性を踏まえ、認知症の鑑別診断や行動・心理症状への対応、せん妄管理、家族支援なども含めた包括的な診療を行っています。

また、身体科との密接な連携のもと、身体症状と精神症状の双方に配慮した治療を実践しています。地域の診療所の先生方におかれましては、精神症状への対応に苦慮される症例や、診断・治療方針の検討を要する症例、入院加療が必要な症例などについて、ぜひ気軽にご相談ください。患者さんやご家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、紹介後も密接な情報共有を行い、切れ目のない医療の提供を目指して参ります。

地域医療を支える一員として、先生方との連携を大切にしながら、湖北地域の精神科医療に貢献していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



— 長浜赤十字病院がん相談窓口をご利用ください —

受付時間 : 平日 9時00分～16時00分 (相談無料)

面談による相談(予約優先・1時間程度)

窓 口 : 長浜赤十字病院 2号館1階(出入り口の右側)

がん相談窓口

問い合わせ先 : 0749-68-3389
ささやく

受付時間が
変わりました



第20回地域医療意見交換会開催のお知らせ

日頃は、地域医療連携に関しましてご協力いただきありがとうございます。

今年は下記の日程で意見交換会を予定しております。お忙しいとは思いますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

○日時 : 10月24日(土) 午後4時～午後8時

○場所 : 北びわこホテルグラツィエ

○内容 : 第1部 講演会、第2部 意見交換会(親睦会)

